



## 2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月12日

上場会社名 株式会社 大盛工業 上場取引所 東  
 コード番号 1844 URL https://www.ohmori.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 関 忠夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 及川 光広 TEL 03-6262-9877  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月17日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期第2四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	2,362	△0.5	244	△36.9	242	△35.6	191	△34.9
2020年7月期第2四半期	2,375	△17.6	387	70.1	376	84.8	293	97.1

(注) 包括利益 2021年7月期第2四半期 191百万円 (△34.9%) 2020年7月期第2四半期 293百万円 (97.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	12.88	12.64
2020年7月期第2四半期	19.79	19.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第2四半期	9,194	4,250	45.4	281.30
2020年7月期	9,145	4,142	44.7	275.41

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 4,172百万円 2020年7月期 4,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,165	△0.4	335	△37.8	307	△40.0	243	△27.8	16.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期2Q	14,848,429株	2020年7月期	14,848,429株
② 期末自己株式数	2021年7月期2Q	15,792株	2020年7月期	15,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期2Q	14,833,063株	2020年7月期2Q	14,834,308株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染の再拡大による経済活動の停滞が継続したことにより、依然として厳しい状況が続きました。

国内建設市場につきましては、国土強靱化計画等に基づく公共投資が底堅く推移しており、当社グループの主要事業である東京都を中心とした上・下水道の建設投資につきましても、早急な実施の必要性等から継続して工事の発注が行われており、事業環境は概ね良好な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループの主力の建設事業におきましては、工事の施工期間の短縮並びに工事コストの低減等の完成工事総利益増加に向けた取り組みを継続してまいりました。

不動産事業等におきましては、太陽光発電設備、賃貸不動産物件等の販売に注力するとともに、O L Y機材リース事業における受注、売上高増加に向けた営業活動を継続してまいりました。

通信関連事業におきましては、売上高及び売上総利益の増加に向けた保守・管理体制等の強化を図るとともに、受注増加に向けた営業活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,362,370千円(前年同期比0.5%減)、営業利益は244,266千円(前年同期比36.9%減)、経常利益は242,439千円(前年同期比35.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は191,089千円(前年同期比34.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業におきましては、受注高590,073千円(前年同期比68.2%減)、売上高1,475,926千円(前年同期比15.6%減)、セグメント利益(営業利益)78,096千円(前年同期比73.0%減)となりました。

#### (不動産事業等)

不動産事業等におきましては、不動産物件の売却並びに賃貸収入、O L Y機材のリース販売等により、売上高723,208千円(前年同期比69.9%増)、セグメント利益(営業利益)150,362千円(前年同期比130.5%増)となりました。

#### (通信関連事業)

通信関連事業におきましては、N T T局内の通信回線の保守・管理業務等により、売上高168,180千円(前年同期比17.3%減)セグメント利益(営業利益)15,775千円(前年同期比52.2%減)となりました。

#### (その他)

その他事業におきましては、クローゼットレンタル事業等により、売上高2,322千円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益(営業利益)31千円(前年同期は577千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産の残高は、9,194,318千円となり、前連結会計年度末に比べ48,651千円増加いたしました。主な理由は、現金及び預金の減少65,888千円、受取手形・完成工事未収入金等の減少537,292千円、未成工事支出金の減少56,814千円、不動産事業等支出金の減少90,774千円、販売用不動産の増加808,440千円、有形固定資産の増加14,469千円、のれんの減少9,683千円、長期貸付金の減少7,500千円、貸倒引当金の減少7,969千円、退職給付に係る資産の増加15,610千円、繰延税金資産の減少13,656千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の残高は、4,943,797千円となり、前連結会計年度末に比べ58,972千円減少いたしました。主な理由は、工事未払金の増加22,915千円、短期借入金金の減少554,011千円、未払金の減少7,343千円、未成工事受入金金の減少46,693千円、賞与引当金の減少33,592千円、損害補償損失引当金の減少25,000千円、完成工事補償引当金の減少5,218千円、未払法人税等の減少47,630千円、その他流動負債の減少16,011千円、長期借入金金の増加651,639千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,250,520千円となり、前連結会計年度末に比べ107,623千円増加いたしました。主な理由は、利益剰余金の増加87,255千円、新株予約権の増加20,532千円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物(以下「資金」という。)」の四半期末残高は2,286,794千円となり、前連結会計年度末に比べ67,389千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は25,093千円(前年同四半期は378,149千円の減少)となりました。資金の主な減少は、たな卸資産の増加660,844千円、未成工事受入金金の減少46,693千円、賞与引当金の減少37,492千円であり、資金の主な増加は、税金等調整前四半期純利益242,439千円、売上債権の減少537,292千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は35,522千円(前年同四半期は44,274千円の減少)となりました。資金の主な減少は、有形固定資産の取得による支出40,638千円、貸付けによる支出4,500千円であり、資金の主な増加は、貸付金の回収による収入17,359千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は6,720千円(前年同四半期は424,686千円の獲得)となりました。資金の主な減少は、短期借入金の返済による支出1,201,662千円、長期借入金の返済による支出227,709千円、配当金の支払額102,813千円であり、資金の主な増加は、短期借入れによる収入650,000千円、長期借入れによる収入877,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の通期の業績予想につきましては、2020年9月14日付の当社「2020年7月期決算短信[日本基準](連結)」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,410,892	2,345,003
受取手形・完成工事未収入金等	1,965,216	1,427,923
未成工事支出金	400,664	343,849
不動産事業等支出金	133,137	42,362
販売用不動産	2,729,451	3,537,891
貯蔵品	41	34
その他	114,784	103,123
貸倒引当金	△2,779	△2,882
流動資産合計	7,751,409	7,797,306
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	378,169	367,159
機械・運搬具(純額)	58,593	85,367
土地	608,922	608,922
リース資産(純額)	2,589	1,294
有形固定資産合計	1,048,276	1,062,745
無形固定資産		
のれん	64,556	54,873
その他	2,537	2,066
無形固定資産合計	67,094	56,939
投資その他の資産		
長期貸付金	66,333	58,833
保険積立金	36,578	36,578
退職給付に係る資産	6,203	21,813
繰延税金資産	69,739	56,083
その他	117,306	113,219
貸倒引当金	△17,275	△9,202
投資その他の資産合計	278,886	277,326
固定資産合計	1,394,257	1,397,011
資産合計	9,145,667	9,194,318

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	298,506	321,422
短期借入金	986,497	432,486
未払金	50,913	43,569
未払法人税等	98,379	50,748
未成工事受入金	857,287	810,593
役員賞与引当金	3,900	—
賞与引当金	70,114	36,522
損害補償損失引当金	55,000	30,000
完成工事補償引当金	28,082	22,864
その他	128,995	112,983
流動負債合計	2,577,677	1,861,190
固定負債		
長期借入金	2,399,420	3,051,059
その他	25,672	31,548
固定負債合計	2,425,092	3,082,607
負債合計	5,002,770	4,943,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,765,371	2,765,371
資本剰余金	704,230	704,163
利益剰余金	670,117	757,373
自己株式	△54,407	△54,505
株主資本合計	4,085,311	4,172,402
新株予約権	57,585	78,117
純資産合計	4,142,897	4,250,520
負債純資産合計	9,145,667	9,194,318

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	1,749,497	1,475,926
不動産事業等売上高	420,340	715,940
通信関連売上高	203,336	168,180
その他の売上高	2,129	2,322
売上高合計	2,375,303	2,362,370
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	1,268,167	1,238,413
不動産事業等売上原価	325,989	507,739
通信関連原価	97,667	79,072
その他の売上原価	404	193
売上原価合計	1,692,229	1,825,419
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	481,330	237,513
不動産事業等総利益	94,350	208,200
通信関連総利益	105,668	89,107
その他の売上総利益	1,724	2,128
売上総利益合計	683,074	536,950
<b>販売費及び一般管理費</b>	296,059	292,684
<b>営業利益</b>	387,014	244,266
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1,697	775
為替差益	181	—
未払配当金除斥益	1,631	749
受取保険金	1,486	23,014
貸倒引当金戻入額	—	7,928
その他	3,346	2,591
営業外収益合計	8,343	35,061
<b>営業外費用</b>		
支払利息	14,140	15,265
支払手数料	—	3,000
為替差損	—	51
貸倒引当金繰入額	4,580	—
役員弔慰金	—	12,000
建物解体費用	—	6,000
その他	6	570
営業外費用合計	18,727	36,888
<b>経常利益</b>	376,629	242,439
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	29	—
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	4,820	0
特別損失合計	4,820	0



(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
税金等調整前四半期純利益	371,839	242,439
法人税、住民税及び事業税	69,316	36,078
法人税等調整額	8,896	15,270
法人税等合計	78,212	51,349
四半期純利益	293,626	191,089
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	293,626	191,089
四半期包括利益	293,626	191,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,626	191,089

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	371,839	242,439
減価償却費	29,387	26,640
のれん償却額	30,029	9,683
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,296	△7,969
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,537	△37,492
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△480	△5,218
受取利息及び受取配当金	△1,697	△775
支払利息	14,140	15,265
売上債権の増減額(△は増加)	△90,929	537,292
たな卸資産の増減額(△は増加)	△153,057	△660,844
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,423	22,915
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△378,969	△46,693
固定化営業債権の増減額(△は増加)	△8,495	8,245
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	—	△25,000
その他	△78,355	△7,205
小計	△364,252	71,283
利息及び配当金の受取額	1,697	775
利息の支払額	△19,140	△17,984
法人税等の還付額	19,987	—
法人税等の支払額	△16,441	△79,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	△378,149	△25,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,200	△40,638
貸付けによる支出	△40,000	△4,500
貸付金の回収による収入	12,446	17,359
定期預金の預入による支出	△4,900	△3,400
その他	379	△4,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,274	△35,522
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,910,000	650,000
短期借入金の返済による支出	△1,601,662	△1,201,662
長期借入れによる収入	400,000	877,000
長期借入金の返済による支出	△207,847	△227,709
配当金の支払額	△74,361	△102,813
リース債務の返済による支出	△1,326	△1,370
その他	△116	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	424,686	△6,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,444	△67,389
現金及び現金同等物の期首残高	1,927,371	2,354,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,929,816	2,286,794

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、工事の中断や遅延等による売上原価の増加などにより、工事進行基準による完成工事高の算定に用いる見積総工事原価等に影響を及ぼす可能性があるものの、現時点では、その影響はありません。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況や収束時期等によっては、これらの見積り及び仮定に基づく数値は実際の結果と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,749,497	420,340	203,336	2,373,174	2,129	2,375,303	—	2,375,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,442	—	5,442	50	5,492	△5,492	—
計	1,749,497	425,782	203,336	2,378,616	2,179	2,380,796	△5,492	2,375,303
セグメント利益又はセグメント損失(△)	289,351	65,234	33,006	387,591	△577	387,014	—	387,014

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業の売上等であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△5,492千円は、セグメント間取引消去△5,492千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、建設事業における株式会社山栄テクノに係るのれんの一時償却を計上しており、当該一時償却によるのれんの減少額は15,807千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2021年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,475,926	715,940	168,180	2,360,047	2,322	2,362,370	—	2,362,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7,268	—	7,268	—	7,268	△7,268	—
計	1,475,926	723,208	168,180	2,367,315	2,322	2,369,638	△7,268	2,362,370
セグメント利益	78,096	150,362	15,775	244,235	31	244,266	—	244,266

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業の売上等であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△7,268千円は、セグメント間取引消去△7,268千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。